

教科	科 目	単位数	学年・クラス
理科	生物基礎	2	3年 地域探究・人文探究コース（選択）

1 使用教材

使用教科書	改訂版 生物基礎
出版社	数研出版
副教材等	2026 セミナー生物基礎
出版社	第一学習者

2 学習の目標

- 1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行う。
- 2 生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	A	C	理解ができているか
小テスト	B	B	B	既習事項を身に付けることができているか
課題	B	B	A	提出状況、理解できているか
授業	A	A	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝 第3節 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報と DNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	生物は、多様でありながら共通性をもっていることを理解する。生物の多様性と共通性は、生物の進化の結果であることを理解する。 生命活動にはエネルギーが必要であることを理解する。細胞の生命活動のエネルギーは、ATP の形で供給されることを理解する。 DNA は2本のヌクレオチド鎖からなる二重らせん構造をしていることを理解する。遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを理解する。 DNA が、半保存的に複製されることを理解する。細胞周期の進行に伴って、DNA が正確に複製され、2つの細胞に分配されることを理解する。
2 学期	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 免疫のはたらき	体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。自律神経系と内分泌系による情報伝達によって、からだの状態の調節が行われることを理解する。 ホルモンと自律神経のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。 からだに、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。免疫と病気の関係や、免疫が医療に応用されていることについて理解する。
3 学期	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植物と遷移 第2節 植物の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	植生の成りたちや相観について理解する。植生が時間の経過とともに移り変わっていくことを理解する。 世界各地には、多様なバイオームが成立していることを理解する。気候条件によっては、遷移の結果として森林のほかに草原や荒原にもなることを理解する。 生態系の成りたちを理解する。生物どうしの関係が種多様性の維持にかかわっていることを理解する。